

2020年2月28日

報道関係各位

株式会社建設ニュース

新型コロナウイルス対策として全内勤者にテレワークを導入

～外勤者も時差出退勤を推進、本日午後から実施～

株式会社建設ニュース（大阪市北区）は、新型コロナウイルス感染症対策として国からの要請に基づき、従業員のテレワーク導入などに取り組むことを決めました。2月28日から一部で導入し、3月1日から本格導入します。具体的には、①テレワークの導入、②時差出退勤、③有給休暇の取得促進、を柱に推進します。サービスの提供などは通常通り実施しますが、お問い合わせについては電話による対応ができない可能性があり、弊社サイト内のお問い合わせフォームからご連絡いただけますと助かります。ご迷惑をおかけしますが、ご協力よろしくお願いします。

新型コロナウイルス対策は、厚生労働省が公表している「新型コロナウイルスに関するQ&A（企業の方向け）」を踏まえて、従業員向けに内容を検討しました。内勤者は原則、テレワークを導入し、外勤者に対しても社内業務は自宅での勤務とします。外勤者は合わせて、時差出退勤を進め、通勤ラッシュを避けた出退勤に取り組めます。さらに有給休暇の取得を推奨し、小中高校の休校に伴う子育ての支援などにつなげます。

弊社の有料サービス、利用者のサポート、請求などの業務は、従来と同様に提供します。なお、お問い合わせについては、電話での対応が難しい可能性があるため、弊社サイト内のお問い合わせフォームからご連絡いただきますようお願いいたします。なるべく迅速に対応するようにします。

期間はいったん3月7日までとし、感染の動向や政府の方針を踏まえて、期間の延長や施策の見直しを実施する予定です。関係各位には多大なご迷惑をおかけして申し訳ありませんが、人命尊重と早期の収束に向けて取り組んで参りますので、ご理解とご協力をいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。